

融雪後には排水溝と生育状況の確認を！

1. 排水対策

12月から1月の積雪により、現在、雪解け水が滞水しているほ場があります。排水不良により湿害が発生すると収量・品質の低下を招きます。排水ができていないかほ場を点検し、滞水している場合は溝さらえ等を行い速やかに排水しましょう。

なお、ほ場周辺は雪や氷で滑りやすいので十分に注意してください。



排水溝がふさがっており、溝さらえが必要

2. 施肥(大麦・小麦共通)

施肥体系やほ場の生育に応じた施肥が必要になります。

全量基肥体系の場合

分けつ不足(莖数 400 本/m²未満)の場合は、遅くとも2月下旬までに窒素成分で 1.5~2kg/10a 程度追肥してください。莖数が十分確保できている(莖数 400 本/m²以上)場合は、追肥の必要はありません。

莖数 400 本/m²以上の
大麦ほ場(例)



莖数 400 本/m²未満の目安

大麦

小麦



2月下旬までに 1.5~2kgN/10a 追肥が必要

分施肥体系の場合

例年並(2月下旬~3月上旬)に窒素成分で3~4kg/10a程度穂肥を施用しましょう。